UMECO第三者評価（令和7年度実施事業分）実施要領

1 目的

UMECOの運営状況について、施設のコネプトや中間支援機能に沿って客観的な視点で分析、評価を行い、その結果を市および指定管理者で共有し、より効果的な事業実施につなげることで、UMECOがその中間支援組織としての役割を十分に果たし、施設の設置目的*を達成することを目指す。

※設置目的…市民の多様な活動を支援し、交流を促進することにより、市民の福祉の増進を図る。

2 評価者

小田原市市民活動推進委員会

3 評価資料及び様式

番号	名称	備考	
指定 管理 者 作 成	資料①	施設利用状況	
	資料②	市民活動団体登録状況	
	資料③	意見等一覧	
	資料④	事業及び実施時期一覧	
	資料⑤	実施事業結果報告	
	資料⑥	アンケート結果まとめ	令和6年度評価分より新規追加
	資料⑦	指摘事項に係る対応状況一覧	令和6年度評価分より新規追加
	資料⑧	指定管理者自己評価表	
評 価 者 作 成	様式⑨	第三者評価シート	
	様式⑩	第三者評価意見等一覧	
	様式⑪	第三者評価意見等集約シート	
	様式⑫	第三者評価	

4 評価の流れ

年月日	内容
令和7年2月13日	次年度事業計画（案）を説明
令和7年3月末まで	委員会での意見交換を踏まえ事業計画を調整し、各委員に送付
令和7年度中	指定管理者による事業実施
令和8年5月上旬	資料①～⑧、様式⑨を事前送付
5月中旬	事前質問を事務局に送付
5月下旬	結果報告、事前質問への回答、質疑応答、委員間で意見交換
5月末	様式⑨に記入して事務局に送付
6月末	様式⑩～⑫（事務局案）の確認を経て評価確定

※太字は委員会の会議を表す。

5 評価項目

I 中間支援機能等の達成状況

(1) 6つの機能

①	拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な打ち合わせや活動内容の発表などの活動と交流の場を提供 ・多様な市民活動や事業者による社会貢献活動などの企画展示
②	相談・支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを始めたい人への相談対応や団体運営についてのアドバイスなど、市民活動に関する幅広い相談の受付 ・市民活動を活性化させるための、人材や資金の確保等に関する支援
③	協働支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体と、行政や事業者などの連携を支援 ・市民や市民活動団体などに直接働きかけ、新たな協働を創出
④	学習・体験機能	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画立案や集客力向上の手法など、活動を発展させるための講座の実施 ・誰でも参加できるボランティア体験機会の提供
⑤	交流・コーディネート機能	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ分野で活動する団体間や分野、業種を超えた交流機会の提供 ・さまざまな活動と情報、人、場所といった地域資源を結びつけるための調整
⑥	情報の集約・発信機能	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな活動情報の集約と発信 ・新たな交流や参加につながる情報誌の発行やインターネットツールの活用

(2) 集約された施設の役割

①	男女共同参画	※旧「おだわら女性プラザCHAT茶っと」の役割
②	国際交流	※旧「おだわら国際交流ラウンジ」の役割

II 施設のコンセプト「つながる」の実現状況

一段階目	「誰でも気軽に」 つながりを生み出す きっかけの場	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな形で地域に関わる人が集まる魅力を持つ。 ・これまで、社会貢献活動に参加したことのなかった人を引き付ける。
二段階目	「シェアしながら」 それぞれの思いが つながる 行動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・空間を共有し、課題を共有しながら連携を促進する。 ・利用者間の交流を通じ、分野を超えた新しい協力を創出する。
三段階目	「地域の課題を解決する」 行動を社会貢献につなげる 実現の場	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の要望と市民活動をつなぎ、公益性の高い活動への成長を促す。 ・持続可能な自立した活動への成長を促すため、活動団体の組織形態の見直しを支援する。

6 評価点

様式⑨（第三者評価シート）における評価点は、各委員において、次の基準により判断して採点する。

評価点	基準
4	<ul style="list-style-type: none"> 多くの「指標」において、今年度の目標を達成しているか、未達成でもやむを得ない理由がある。または、特定の「指標」において、今年度の目標を著しく大きく超えて達成している。 多くの事業において、「成果」を上げている。または、特定の事業において、工夫や努力により著しく大きな「成果」を上げている。 実施した事業は、「コンセプトの実現／機能の達成」に非常に有効である。
3	<ul style="list-style-type: none"> どちらかという多くの「指標」において、今年度の目標を達成しているか、未達成でもやむを得ない理由がある。または、特定の「指標」において、今年度の目標を大きく超えて達成している。 どちらかという多くの事業において「成果」を上げている。または、特定の事業において、工夫や努力により大きな「成果」を上げている。 実施した事業は、「コンセプトの実現／機能の達成」に有効である。
2	<ul style="list-style-type: none"> どちらかという多くの「指標」において、今年度の目標を達成しておらず、未達成でやむを得ない理由もない。 どちらかという多くの事業において「成果」に乏しい。 実施した事業は、「コンセプトの実現／機能の達成」にあまり有効でない。
1	<ul style="list-style-type: none"> 多くの「指標」において、今年度の目標を達成しておらず、未達成でやむを得ない理由もない。 多くの事業において「成果」に乏しい。 実施した事業は、「コンセプトの実現／機能の達成」に有効でない。

※表中の「指標」「成果」は、「Ⅰ 中間支援機能等の達成状況」を評価する際は機能の達成に関する指標及び成果、「Ⅱ 施設のコンセプト「つながる」の実現状況」を評価する際はコンセプトの実現に関する指標及び成果を指す。

※評価にあたっては資料⑤（実施事業結果報告）を主な判断材料とした上で、他の資料（アンケート結果、指摘事項に係る対応状況等）から加点、減点を行う。

7 評価結果の通知及び公表

評価結果については、様式⑪⑫（第三者評価意見等集約シート、第三者評価）により指定管理者に通知するとともに、様式⑫により市ホームページ上で公開する。